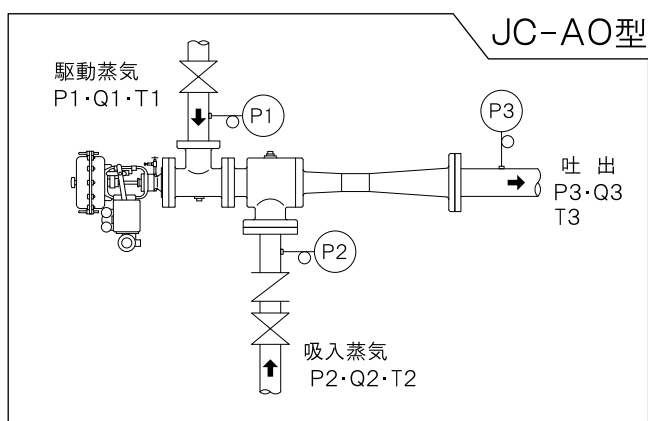
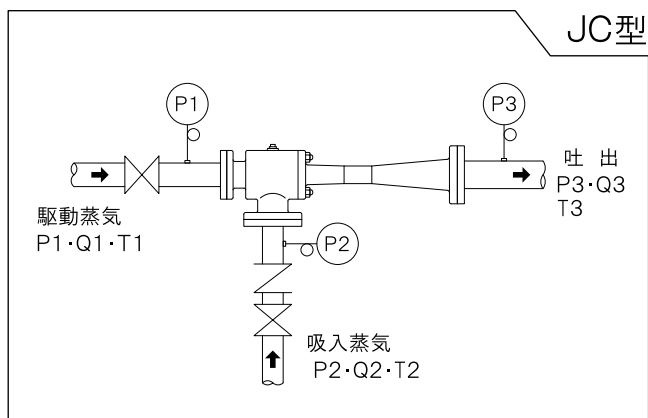


サーモコンプレッサー取扱説明書

【1】基本条件

1. サーマコンプレッサーはご要求の仕様に合わせて、最も効率の良い製品を設計製作しています。
したがって試運転時には、駆動圧力(P1)・吸入圧力(P2)・吐出圧力(P3)、各々の圧力が仕様条件と一致しているかを下図に従い確認して下さい。



2. 運転条件と仕様条件が一致しない場合は以下の問題点が発生します。

駆動圧:P1	吸入圧:P2	吐出圧:P3	吸入量:Q2
設計値より高い	設計値	設計値	微減
設計値より低い	設計値	設計値	減少
設計値	設計値より高い	設計値	増加
設計値	設計値より低い	設計値	減少
設計値	設計値	設計値より高い	減少
設計値	設計値	設計値より低い	変化なし

※ 運転条件変更によって吸入量を増加させることは出来ません。

[吸入圧力(P2)を高くする場合を除く。]

※ 各蒸気圧力が変動する場合の設計は基本的に…

- A. 駆動圧力(P1)は、最低圧力を設計値とする。
- B. 吸入圧力(P2)は、最低圧力を設計値とする。
- C. 吐出圧力(P3)は、最高圧力を設計値とする。

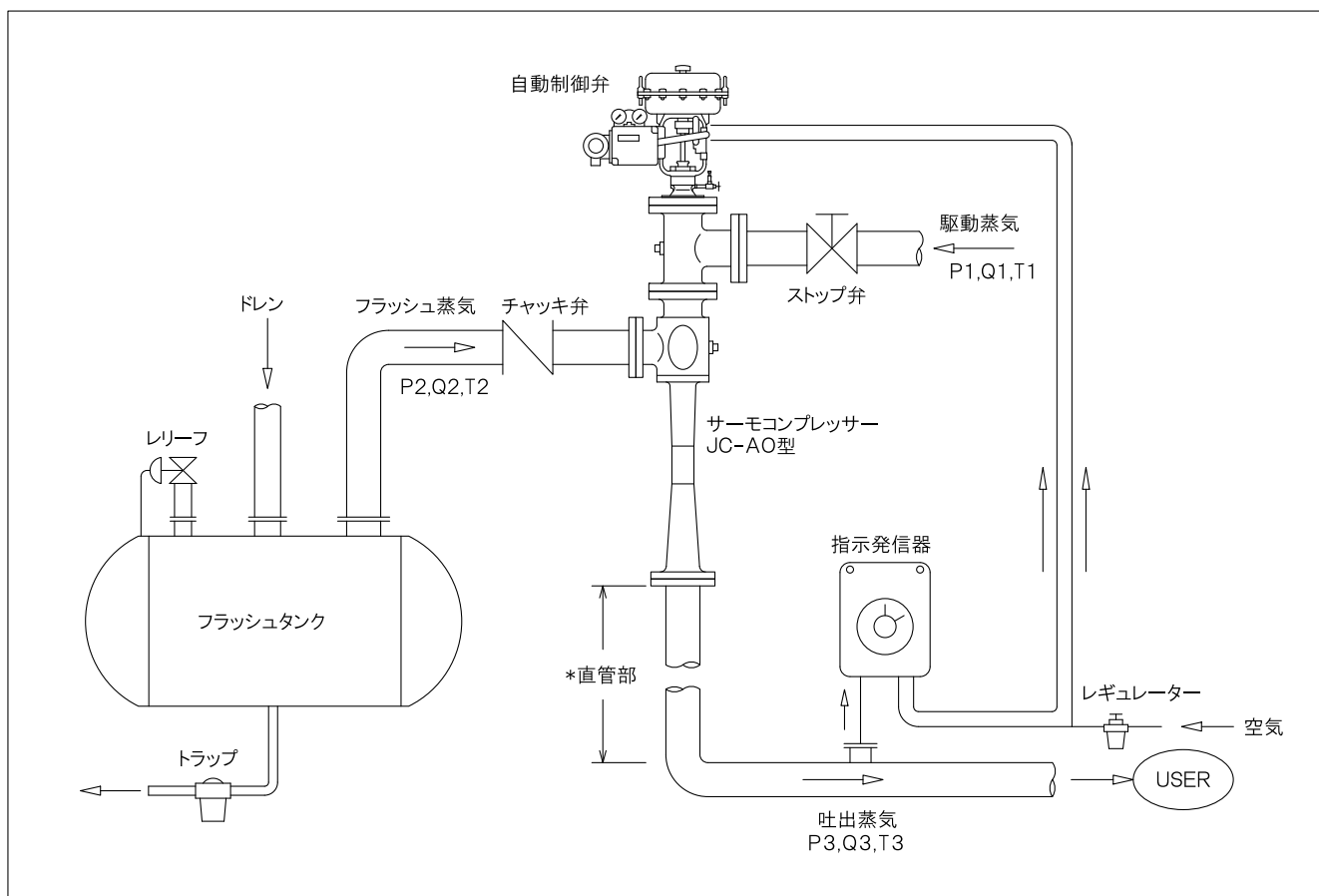
【2】据付および配管

1. サーマコンプレッサーは水平及び垂直（吐出下向きに限る）のいずれの姿勢でも使用出来ます。
ただし、運転および停止中にボディー内部にドレンが溜まらない姿勢として下さい。（又は溜まったドレンを運転開始前にドレンプラグ等により排出できる姿勢として下さい。）
2. 低圧ラインへの蒸気の逆流を避ける必要がある場合には、吸入側に逆止弁を取付けて下さい。
3. 十分な性能を発揮するため最低でも駆動側配管は口径の3倍、吐出側配管は口径の5倍以上の直管部を設けて下さい。（出来るだけ流れがスムーズとなる前後配管を推奨致します。）
4. 駆動蒸気の配管は、ノズル直前において常に設計値の圧力と乾き度を保つようするため以下の点を考慮して下さい。
 - a) なるべく駆動側に近い適当な箇所にスチームトラップを設けドレンを除いて下さい。
 - b) 配管の保温を十分にして蒸気が湿らないようにして下さい。
5. 配管全体による歪みや応力をサーモコンプレッサー単品で受けないようにして下さい。
6. サーマコンプレッサーはエジェクター効果を出すため、ノズル部において蒸気は超音速（又は亜音速）で噴射されます。そのため騒音が発生しますので必要であれば消音ボックス等による防音対策を施して下さい。

【 3 】 制御方法 (運転方法)

1. 運転開始時には、事前に蒸気配管内のドレン及び空気を十分に排出してから運転を行って下さい。
ドレン及び空気が残っている場合、性能低下およびハンマリングの原因となります。
2. 吸込みラインおよび吐出ラインのバルブを開いた後、駆動蒸気バルブをゆっくりと開いて下さい。
3. JC-AO型の自動制御弁(ニードル弁)では蒸気を遮断することは出来ませんので、装置を遮断する場合は遮断弁によって行ってください。
4. コントロールシステムの設定蒸気圧力または流量が正しく設定されているか、ポジションナーの空気圧は正しく設定されているか等、製造仕様書および調節弁取扱説明書に従って確認して下さい。

【 4 】 JC-AO型 配管例



【 5 】 お問い合わせ

本取扱説明書でご不明な点は、弊社にお問い合わせ下さい。